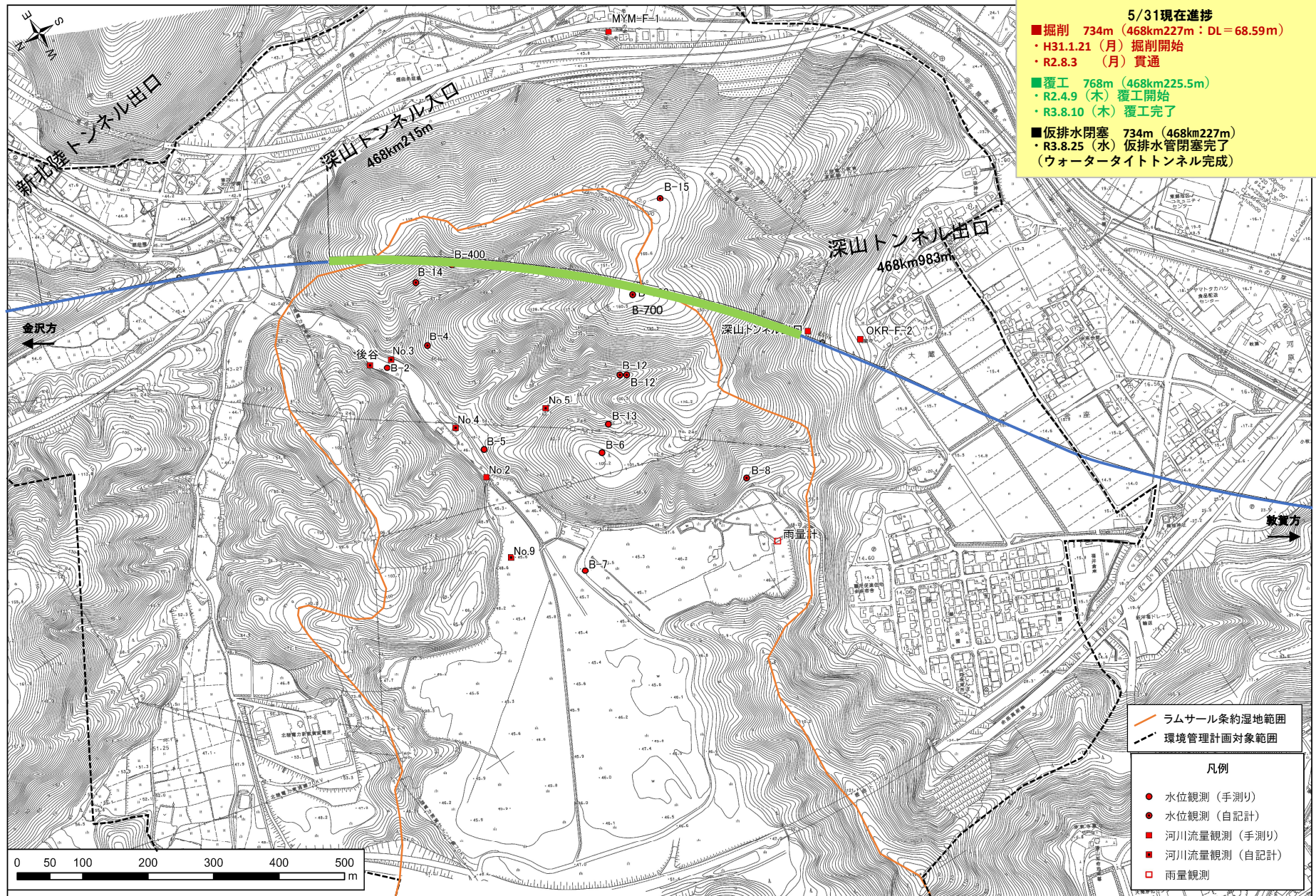


深山トンネル水文調査モニタリング報告書

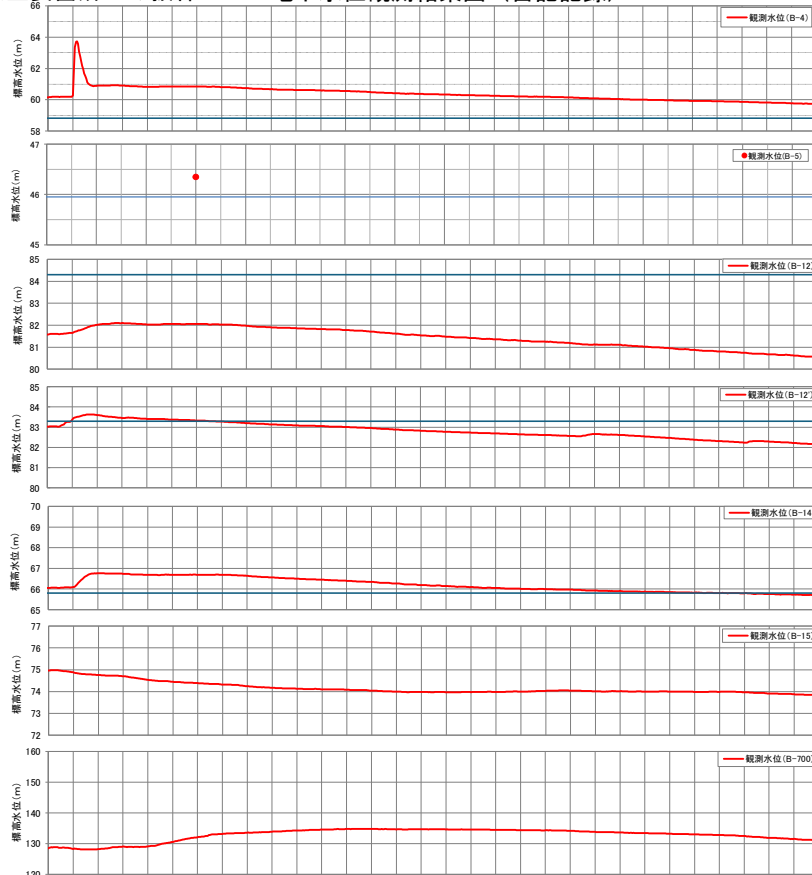
調査期間：令和8年5月1日（金）～令和8年5月31日（日）

「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。

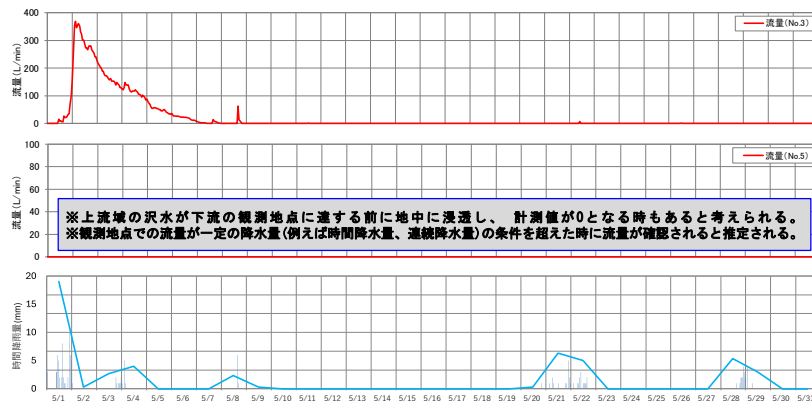


※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図（自記記録）



流量観測結果図（自記記録）



※上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透し、計測値が0となる時もあると考えられる。
※観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-15 地下水位

B-700 地下水位

No. 3 流量

No. 5 流量

全体総括

- 目立った変動なし □やや変動あり
- 変動あり（注意体制への移行を検討）

期間中の地下水位低下量

- 1m未満ないし増加：B-2、B-4、B-5、B-7、B-8、B-12'、B-14、B-700
- 2m未満：B-12、B-13、B-15、B-400 □5m未満：
- 5m以上：B-6

日降水量

- 15mm未満 □15mm以上 ■50mm以上

月降水量

- 80mm未満 □80mm以上 ■130mm以上 □200mm以上

概要

■水位変動について

- ①目立った変動なし。
- ②B-4（自記水位計）：期間中の降雨に明瞭な反応を示し、水位が上昇する箇所が認められるが、5/3以降の水位は横ばい～低下傾向を示す。また、過年度最低水位を上回っている。
- ③B-5（手計り）：過年度最低水位を上回っている。
- ④B-12（自記水位計）：期間中の降雨に反応を示し、水位が上昇する箇所が認められるが、5/3以降の水位は横ばい～低下傾向を示す。また、過年度最低水位を下回る状況が続くため、今後も注視していく。
- ⑤B-12'（自記水位計）：期間中の降雨に反応を示し、水位が上昇する箇所が認められるが、5/3～21、5/22～28、5/30～31の水位は低下傾向を示す。また、過年度最低水位を下回る状況が続くため、今後も注視していく。
- ⑥B-14（自記水位計）：期間中の降雨に反応を示し、水位が上昇する箇所が認められるが、5/3以降の水位は横ばい～低下傾向を示す。また、過年度最低水位を下回ったため、今後も注視していく。
- ⑦B-15（自記水位計）：期間中の降雨に反応を示さない。期間中の水位は横ばい～減少傾向を示す。
- ⑧B-700（自記水位計）：期間中の降雨に反応を示さない。水位は5/1～16で上昇傾向を示すが、16日以降は低下傾向を示す。

■流量変動について

- ①No. 3（自記）：期間中の降雨に明瞭な反応を示し、流量が増加する箇所が認められるが、5/9～21、5/23～31の流量は確認されない。
- ②No. 5（自記）：期間中の流量は0L/minの状態が続く。
⇒無降雨・少雨時や大雨の数日後において、当該地点の上流域の沢水は観測地点に達する前に地中に浸透することで、流量の計測値がゼロとなっている状況である。
⇒当該地点の上流域で一定の降水量の条件(例えば時間降水量、連続降水量)を満たした時に観測地点で流量が確認されると推定される。

■降水量について

- ①4月の日最大降水量：4/27の33.0mmである。
- ⇒5月の日最大降水量：5/1の57.0mmである。
- ②4月の降水量：123.0mm、5月の降水量：146.0mmである。
昨年4月は137.0mm、5月は142.0mmである。
平年値（敦賀アメダス）は4月は120.4mm、5月は141.4mmである。